

L I M

Latest Information Mail

キンモクセイ

中国南部が原産とされるキンモクセイ。庭木としてもおなじみで、この季節になると甘い香りが辺りを包みます。お茶やお酒、お菓子などでも広く利用され、とても身近な樹木の一つですね。



今回はそんなキンモクセイについて掘り下げてみたいと思います。

● 様々な花の咲かせ方をします

キンモクセイの開花時期は地域や品種にもよりますがおよそ9月中旬から10月中旬といったところ。その間に一週間ほどオレンジ色の小さな花を咲かせるのです。また種類によっては9月に一度咲いた後10月にも咲く二度咲きのものや四季咲きのものなどもあります。

● 園芸品種としても良く知られています

江戸時代に日本に入ってきたとされるキンモクセイ。日本で育てられているのは雄花のみなので種はできず、挿し木で増やされてきたという経緯があります。このため家庭でも花を咲かせるまでに5年以上と時間はかかりますが、自分で鉢植えで株を増やすことができます。

● 花を使って香水を作ってみては？

せっかくの良い香りを長く楽しみたい方には手作りの香水はいかがですか？手摘みの花を使って作った香水は思い入れもひとしお。特別な道具もなく簡単に作ることができますよ。

用意するもの

- ・キンモクセイの花
- ・無水エタノール
- ・遮光瓶(茶色のもの)
- ・ゴム手袋

- ①煮沸消毒をして乾燥させた遮光瓶にゴミなどを除いたキンモクセイの花を半分～8分目程度まで入れます。
- ②遮光瓶に無水エタノールを8分目程度まで注いで、ふたを閉め冷蔵庫へ。
- ③冷蔵庫で寝かすことおよそ2ヶ月でキンモクセイの香水ができて上がります。

※使う時は精製水で5倍程度に薄めて使用してくださいね

